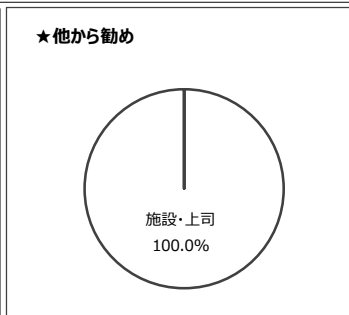
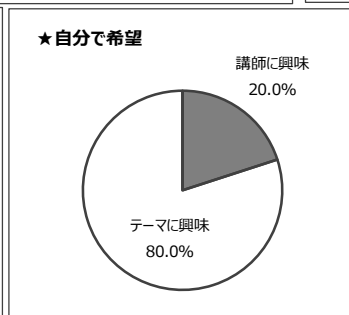
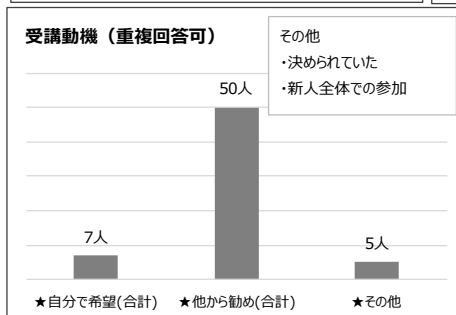
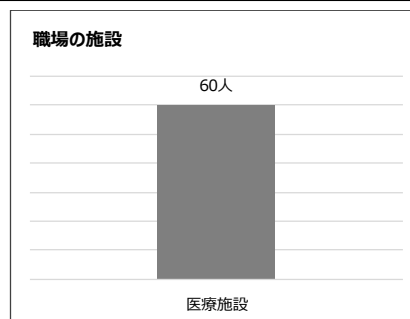
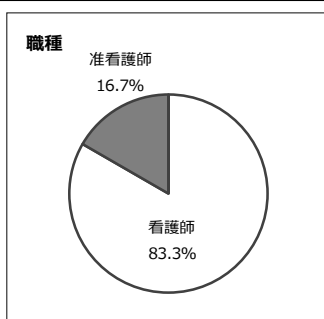
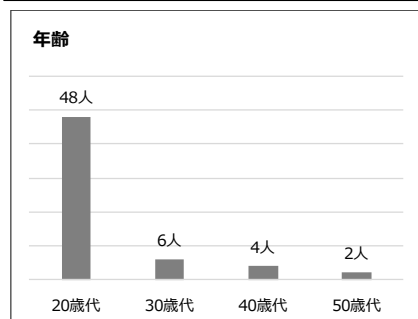


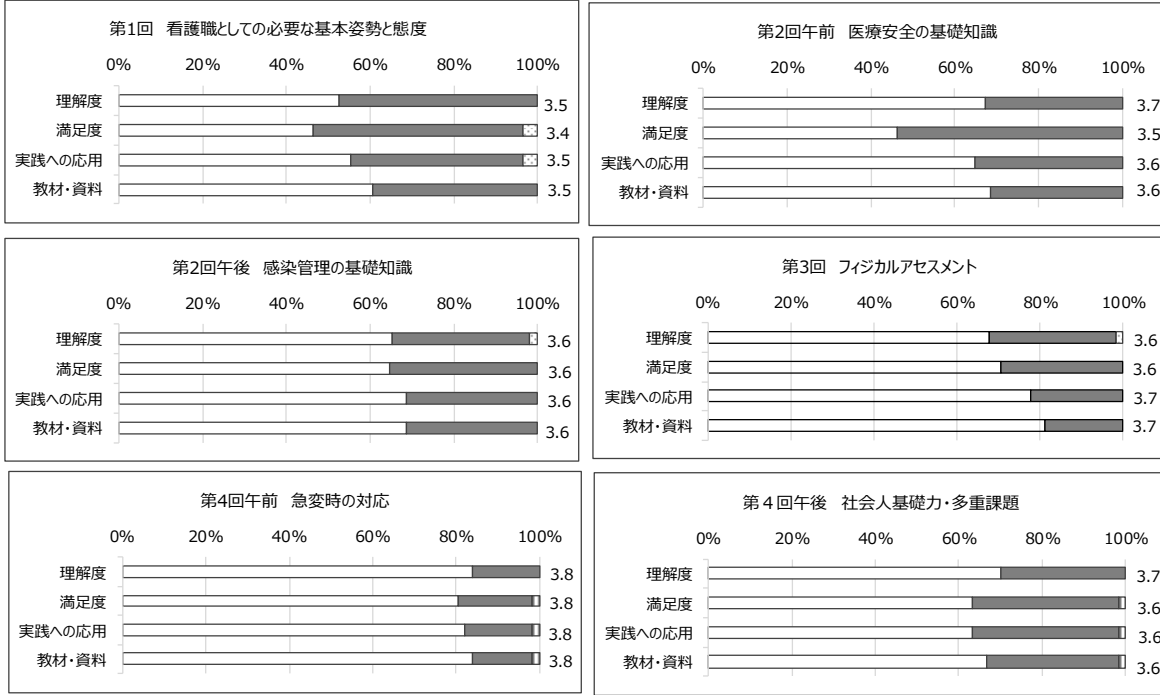
新人看護職員研修

目的：自施設で研修が出来ない施設に勤務する新人看護職員、看護技術に不安のある新人看護職員の質の向上および早期離職防止を図る。新人看護職員同士の交流を通じて、勤務する施設外における仲間づくり、ネットワーク化を図ることで離職防止を図る。

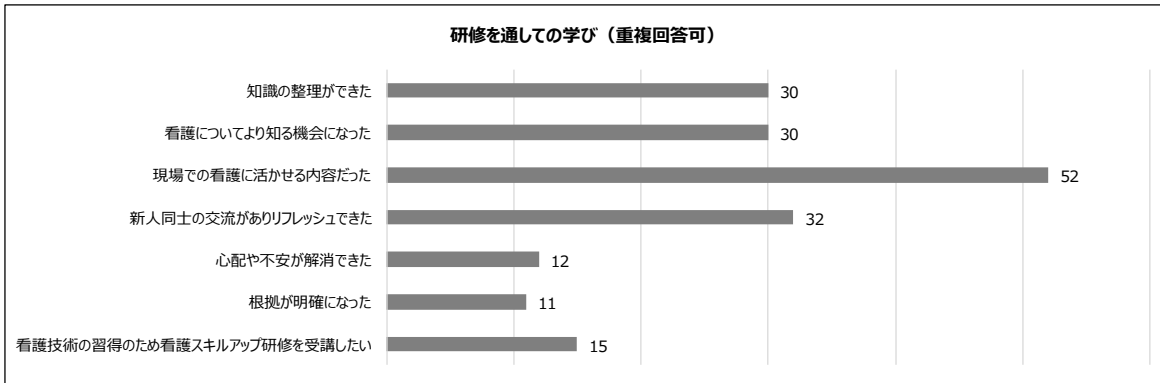
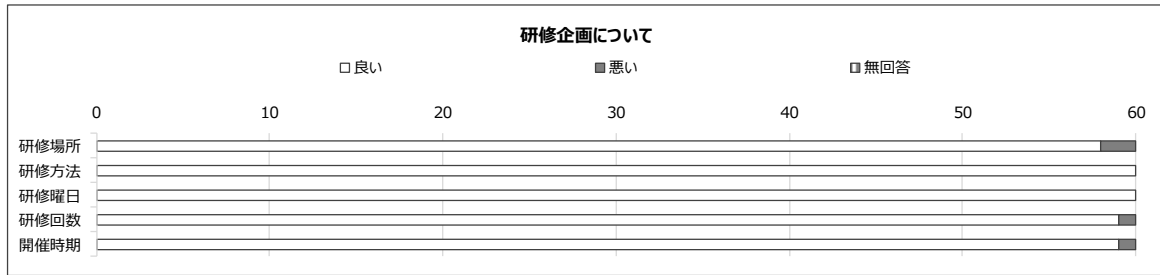
回	時間	内容	県央	県南	県北
【 3地区合同 】 ながさき看護センター 5月9日(火)					
1	10:00~12:30	看護職として必要な基本姿勢と態度	長崎県看護協会 会長 西村伊知恵		
	13:30~16:30	第1回 交流会 「コミュニケーションスキル」			
			5月22日(月)	5月23日(火)	5月26日(金)
2	10:00~12:30	医療安全の基礎知識	医療安全管理者 小川裕美	医療安全管理者 上野光男	医療安全管理者 三根直子
	13:30~16:00	感染管理の基礎知識	感染管理認定看護師 竹村 恵	感染管理認定看護師 金澤美弥子	感染管理認定看護師 福井
			5月29日(月)	5月30日(火)	6月2日(金)
3	10:00~12:30	看護に活かすフィジカルアセスメントⅠ ~呼吸・腹部~	集中ケア認定看護師 前田理恵		
	13:30~16:00	看護に活かすフィジカルアセスメントⅡ ~循環・脳神経系~			
			6月12日(月)	6月13日(火)	6月16日(金)
4	10:00~12:30	急変時の対応	救急看護認定看護師 與賀田洋	救急看護認定看護師 谷賢介	救急看護認定看護師 松井
	13:30~16:00	社会人基礎力に関するもの 多重課題への対応	長崎県看護キャリア支援センター 職員		
【 3地区合同 】 ながさき看護センター 7月7日(金)					
5	13:30~16:30	第2回 交流会 「セルフマネジメント」	長崎県立大学シーボルト校 教授 大重育美		
【 3地区合同 】 ながさき看護センター 10月17日(火)					
6	13:30~16:30	第3回 交流会 「振り返り」	長崎県看護キャリア支援センター 職員		
【 3地区合同 】 ながさき看護センター 1月26日(金)					
7	13:30~16:30	第4回 交流会 「2年目に向けて」	NPO 法人日本看護キャリア開発センター 代表 下山 節子		



研修会について (凡例 □高い ■やや高い ▨やや低い ■低い ▩無回答) 4点評価平均点



研修全体の評価



受講者数	61人
回答者数	60人
回答率	98.4%

(うち、1名退職：アンケート回収時点)

<評価>

研修内容の評価は高く、フィジカルアセスメントや急変時対応など臨床現場で直結する実践的なスキルについては理解度と満足度が高かった。「わかりやすく実践に活かせる内容だった」など、基礎知識の整理や現場活用できる内容も提供され、これらが受講者の主な学びとなった。

交流会では、日ごろの悩みや不安を共有でき、「悩んでいるのは自分ひとりではない」と孤独感が和らぎ、メンタル面への効果が見られた。また、「頑張ろうという気持ちになった」「仕事への意欲が得られた」など、前を向く力と意欲の向上にもつながり、「リラックスして参加できた」「本音で話せた」と、自施設から離れた環境で安心して思いを共有でき、リフレッシュの場ともなっていた。さらに、他施設の状況を知ることで視野が広がり、「解決策がみつかった」「参考になる意見が聞けた」など具体的なアドバイスを得て、行動の糸口も見つけられていた。

看護実践能力向上と、交流会での精神面でのケアの両面で大きな効果が認められ、総合的に有益な研修であったと評価する。

<課題と今後の取り組み>

実践的内容の早期開催の希望等あり、ニーズの把握とプログラム内容・方法の改善を行う。また、アンケートの意見から、自施設では言えない日ごろの思いを聞くことができ、これは新人看護職員教育者にも大切な情報である。思いをつなぐ役割として教育者研修等でフィードバックできる機会を検討したい。

交流会は精神面に効果があるため、管理者への単独参加推奨など周知広報も取り組み課題としたい。